


腹腔鏡下胆のう摘出術を受けられる患者さんへ

経過	外来	手術前日（入院日）	手術日（術前）
目標	入院の準備ができる	手術に対する不安が少なく過ごせる	
日付	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()
他科受診		 麻酔科医の診察があります。	
検査	 検査 採血、心電図、肺活量、レントゲンなどがあります。		
治療、処置		 おへそのそうじと血栓予防の弾性ストッキングのサイズ合わせを行います。	 手術 手術前に鼻から胃管を入れます。着替えをして、ストレッチャー又は歩いて手術室に向かいます。
内服、点滴	 現在飲んでいる薬の確認をいたします。入院される時には薬をお持ちください。	 寝る前に下剤を飲みます。手術前から手術後数日間内服薬は看護師で管理させていただきます。	 ()時から点滴を始めます。手術後まで点滴をいたします。()時に麻酔のためのお薬を飲みます。
排泄			 6時に浣腸をいたします。点滴を始めた後もトイレに行くことはできます。
食事	 脂肪を制限して下さい。脂肪は胆のうを収縮させるので、腹痛がおこることがあるからです。	 ()以降は食べ物を食べることができません。お水、お茶、ポカリスエットは翌朝まで飲むことができます。制限はありません。	 ()時以降は、お薬を飲む以外お水その他一切飲むことができません。
安静度	 いつも通りに生活して下さい。安静にするとかえって体力が落ちてしまいます。腹式呼吸の練習をしてください。		
清潔			
説明	 医師と看護師が入院や手術の説明をいたします。同意書をお渡しいたしますので署名、捺印のうえ看護師にお渡しください。	 医師と看護師が手術や入院経過の説明をいたします。同意書の確認をいたします。	 留意点 手術中ご家族の方は病室か食堂でお待ちください。
メモ	 留意点 ※患者さんの状態に応じて予定が変更となる場合があります。		

腹腔鏡下胆のう摘出術を受けられる患者さんへ

経過	手術日（術後）	術後1日目	術後2日目	術後3日目以降
目標	痛みや吐き気がない	痛みが無く歩くことができる		退院できる
日付	月 日（ ）	月 日（ ）	月 日（ ）	月 日（ ）
他科受診				
検査		 起床後に採血、検尿をいたします。 午前中に胸とお腹のレントゲン撮影があります。		
治療、処置	 手術中に鼻から胃に入っている管を抜いてきます。酸素マスクがついてきます。なんとか傷の観察を	 回診時に傷を確認いたします。		 ご退院おめでとうございます。
内服、点滴	 痛みが強くならないように痛み止めを使用していきます。	 痛みと炎症をおさえるお薬を飲みます。		
排泄	 背中が抜けたら尿の管が抜けます。最初は看護師が付き添い尿量をお聞きたいします。			
食事	 麻酔が完全にさめましたらお水などを飲むことができます。夕または翌日から食事ができます。食事開始後は特に制限はありません。			
安静度	 麻酔が完全にさめた後はからだを起こし、歩くことができます。頑張ってください。	 制限はありません。痛みが強い時は痛み止めを追加いたします。		
清潔	 背中が抜けたらシャワーに入れます。			
説明	 手術後に医師よりご家族に手術の説明があります。	 保険などの診断書が必要な場合はお早めへお申し出ください。		 退院時に次回外来受診表をお渡しします。
メモ	 胆のうは肝臓で作られた胆汁をためておく袋なので、手術でとってしまうても肝臓から胆汁は流れるため、体に害はありません。手術後は脂肪の多い食事（油っこい食事）をとると、下痢をすることがあります。ご自分のお体と相談しながら食事の脂肪量を調節してみてください。			